

Open RAN推進分科会 第1回会合

2022. 7. 22(金)

13:30-16:30

本日は御参加いただき、誠にありがとうございます。

※入室時、**マイク及びカメラはオフ**に設定いただきますよう、お願いいたします。

議事次第

1. 開会の辞(中尾国際委員会委員長(東京大学))
2. 当分科会の概要(事務局)
3. Open RANのプレイヤーからの情報提供(各事業者様等)
4. 今後の予定・御講演募集について(事務局)
5. 閉会の辞(中尾国際委員会委員長(東京大学))

Open RAN推進分科会の概要(1/2)

- サプライチェーンリスクを解消し、柔軟なネットワークの構築を可能とする「オープンな基地局」の重要性が高まっており、QUAD各国を中心としてオープンな基地局の推進が世界の潮流となりつつある。
- Beyond 5Gが普及する将来においても、オープンな基地局に関する我が国/我が国企業の優位性の確保、世界的な普及を目指し、産学官が連携するBeyond 5G推進コンソーシアムに、オープンな基地局の普及・展開を推進する分科会（「**Open RAN推進分科会**」）を設置した（2022年3月18日にキックオフイベント開催）。

【目的 / 意義】

Open RANに関する各種課題に関して議論し、各種議論を総括した報告書を提出することで、

- 日本企業の海外進出の支援
- QUADをはじめとした国際連携の推進
- 日本のOpen RAN/OTICの推進
- AI/ML等の優れた技術を有した企業のOpen RAN活動への参加の誘引

につなげる。

【アウトプット】

Open RAN推進分科会で議論する内容をもとに、上記目的に資するよう報告書としてまとめ、本分科会の成果とする。

【運営】

主査：森川企画・戦略委員長、中尾国際委員長

副主査：日本キャリア4社

事務局：シンクタンク（及び総務省）

【分科会参加者】

講演者：Beyond 5Gコンソーシアム企画・戦略委員会又は国際委員会の会員、
Open RANに取り組むキャリア及びベンダ（海外企業も含む）

オブザーバー：Open RANに関心のある（参画はしていない）ベンダなど

Open RAN推進分科会の概要(2/2)

- ▶ 講演形式で**機器ベンダーや通信事業者等から情報提供**いただく。
- ▶ 以降、月1回程度本会合を実施予定であり、**年度末に報告書**をとりまとめる予定。

講演テーマ例

① 最新のOpen RAN状況

- ・ Open RANの最新動向（海外における動向含む）や各企業の取組
- ・ 海外展開の状況
- ・ Open RAN市場（日本での普及状況、新しいエコシステム、ベンチャーなどの動向）
- ・ O-RANアライアンス等の標準化活動状況

② Open RANのメリット

- ・ TCO(Total Cost of Ownership)削減効果
O-RAN基地局の優位性を示す大きな指標、海外展開の宣伝材料
- ・ サプライチェーン多様化によるメリット
- ・ （派生的話題）キャリア・ベンダ以外の「ユーザ」にとってのメリット（通信料が減るなど）

③ Open RANの諸課題

- ・ セキュリティ、省電力、マルチベンダ構成のインテグレーション、既存キャリアのOpen RANへのマイグレーション等、Open RANの課題

④ 相互接続試験用テストベッド

- ・ 今年度設立予定の相互接続試験用テストベッドについての取組や、テストベッドを起点としたベンダの海外展開可能性について
- ・ テストベッドを起点としたベンダの開発の促進

⑤ Open RAN新技術

- ・ 5G、Beyond 5Gに向けたOpen RANに関する今後の課題
- ・ 国際連携の推進方策について

本日の御講演スケジュール

| | 発表者 | 講演タイトル | 時間 |
|---|---|-------------------------------|-------------------|
| 1 | ノキア ストラテジー&テクノロジー部 カスタマーCTO 柳橋 達也 様 | モバイルネットワークのオープン化と ノキアの取り組み | 発表 15分 質疑応答 5分 |
| 2 | エリクソン・ジャパン CTO 藤岡 雅宣 様 | オープンRANとエリクソンの取り組み | 発表 15分 質疑応答 5分 |
| 3 | 富士通 モバイルシステム事業本部 モバイルソリューション事業部事業部長 佐藤 直人 様 | 富士通のOpen RANの取り組み | 発表 15分 質疑応答 5分 |
| 4 | NTTドコモ Global Head of Open RAN Solutions 安部田 貞行 様 | Open RAN in DOCOMO | 発表 15分 質疑応答 5分 |
| 5 | 楽天モバイル 品質保証プラットフォーム本部 QAマルチアクセス部部長 朽津 光広 様 | これまでのOpen RAN状況 | 発表 15分 質疑応答 5分 |
| 6 | VIAVIソリューションズ チーフワイヤレスアーキテクト 千葉 恒彦 様 | O-RANアライアンスの動向と試験/統合作業 | 発表 15分 質疑応答 5分 |

今後の予定・御講演募集

| 年 | 2022年 | | 2023年 |
|------|--|-------------------------|---|
| 月 | 7～9月 | 10～12月 | 1～3月 |
| 会合予定 | 7/22(金) ▲ 会合（前半） →各社の御講演による情報提供 の機会として3回以上開催 | 8月下旬 ▲ 9月下旬 ▲ ... | ▲ 本会合（後半） →各社の御講演をまとめた報告書 に関する議論 ▲ ▲ ▼ 報告書完成 |

御講演者の募集について

- ▶ 次回会合以降で御発表いただける方は、事務局（b5g_consortium@soumu.go.jp）まで御連絡ください。
 - ・発表形式は今回と同様（発表15分、質疑応答5分）
- ▶ 以下のテーマを基準にテーマを設定いただき、どの回に御発表いただいても構いません。
 - ① 最新のOpen RAN状況
 - ② Open RANのメリット
 - ③ Open RANの諸課題
 - ④ 相互接続試験用テストベッド
 - ⑤ Open RAN新技術